

加配活用による多忙化解消に取り組んだ実践

高山市立新宮小学校

1. 目標

- ・高学年担任の時間外勤務を一人1日1時間減少させ、昨年度比月20時間減ることを目指す。
- ・月80時間以上の時間外勤務を0にする。

2. 加配教員に係る実施状況（小学校教科担任A）

加配措置状況		実施教科	実施状況					
非常勤	(週時間)		5年生			6年生		
			実施	学級	時間	実施	学級	時間
1	20	国語	○	2	10	○	2	10

3. 実践の内容

(1) 加配の活用（取組項目②）

- ・高学年に空き時間を週10時間確保  
 小学校教科担任A（国語）5時間 小学校専科指導（算数）5時間  
 計10時間の空き時間
- ・高学年は、一日2時間の空き時間を、1時間は校務分掌や教材研究等、1時間は早く帰ることに使う。
- ・仕事量の多い校務分掌を高学年へと傾斜配置することで、1,2年の負担軽減。

(2) 教員の指導力向上（取組項目⑦）

- ・教職員の指導力を向上させ、保護者や地域の信頼を得ることが一番の多忙化解消につながると考え、下記の内容を徹底  
 生徒徒指導事案に早期対応早期解決  
 保護者の思いに心を馳せる対応

(3) 定期的な職員会の廃止等（取組項目③）

- ・職員会や指導部会をなくし、週1回の打ち合わせを職員会として位置付ける。  
 （月あたり 1時間40分の削減）
- ・迅速な対応ができるよう、各学年部にフリー職員を配置。
- ・週案の簡略化。 ・掲示は基本しない。 ・月曜日は5時間授業。
- ・掃除は週2回。（3回は長い昼休みとし、職員の仕事時間確保）

(4) その他

- ・年休取得を進め、補充はお互いに入ることを基本とする。

## 令和2年度多忙化解消アクションプラン

(小学校における働き方改革推進プロジェクト校用)

### 4. 評価結果

※加配の活用分のみ。

	高学年担任の 平均空き時間数			教職員の月当たりの平均 時間外勤務時間 (9月～11月)			
	5年生	6年生	平均	9月	10月	11月	9～11月平均
R1	1.0	4.0	2.5	69時間30分	81時間6分	67時間36分	72時間24分
R2	10.0	10.0	10.0	73時間26分	67時間39分	62時間22分	68時間45分

### 5. 成果と課題

#### (1) 成果

- ・昨年度高学年担任の月別平均時間外勤務時間  
10月86.5時間、11月59.0時間、12月64.0時間  
今年度高学年担任の月別平均時間外勤務時間  
10月60.7時間、11月58.0時間、12月60.0時間  
このことから、高学年担任の時間外勤務の減少が明らか。
- ・今年度本校は、長寿命化改修工事に伴う引っ越し作業、夏にエアコンが使用できないため熱中症対策としてバス6台を14日間運行し、職員が早朝から添乗、大雨が続く早朝より河川や通学路の点検や見守り、クマの目撃情報が多発し職員が登下校の見守り、創立70周年記念事業といった、例年になく特別なことが多い年だった。そんな中でも、昨年度と比較して上記のような数値が出せたことは、成果と言える。
- ・高学年に空き時間を10時間確保すると同時に、仕事量の多い校務分掌を高学年に置くという傾斜配置をすることで、空き時間のない低学年の負担を軽減し時間外勤務の減少になった。

#### (2) 課題

- ・空き時間は増えたが、空いた時間を「余分に教材研究する」「子どもの様子を見るために教室に入る」などの教師魂により、空き時間をより力を入れて働く時間にしてしまう教職員の意識改革。
- ・「誰かが残って働いていると自分もやらなくてはいけない」というような考えが変えられない職員がいる。自らタイムマネジメントをして時間外勤務時間を減らすよう努力することが必要。
- ・高学年の時間外勤務時間は減少できたが、他の職員には月に80時間を超える職員がいた。目標の「月80時間以上の時間外勤務を0にする」の実現に向けて実践を続ける。